



地震防災

ハザードマップ

Earthquake hazard map

지진방재 해저드 맵
地震防災地图



緊急避難グッズ

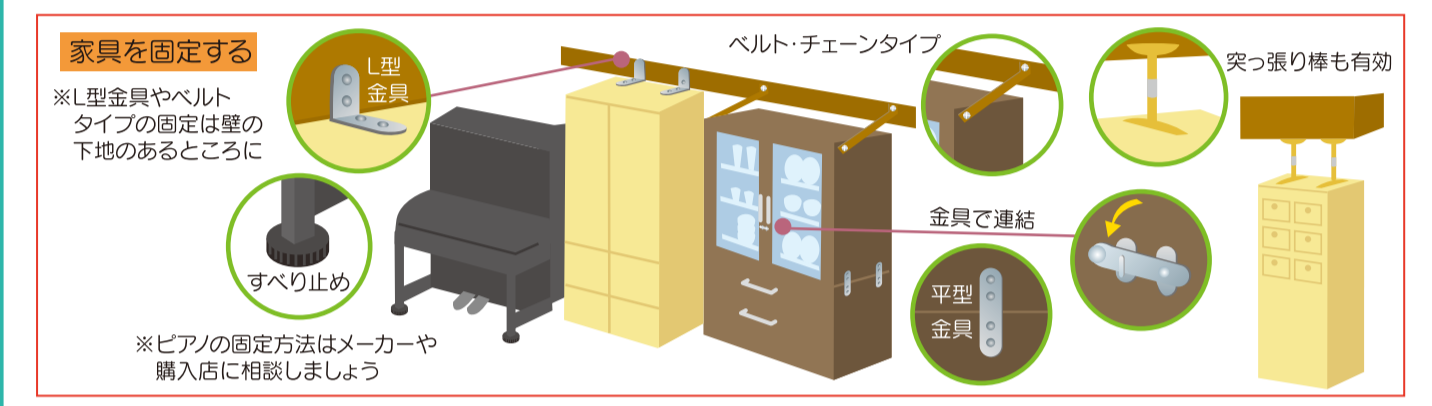
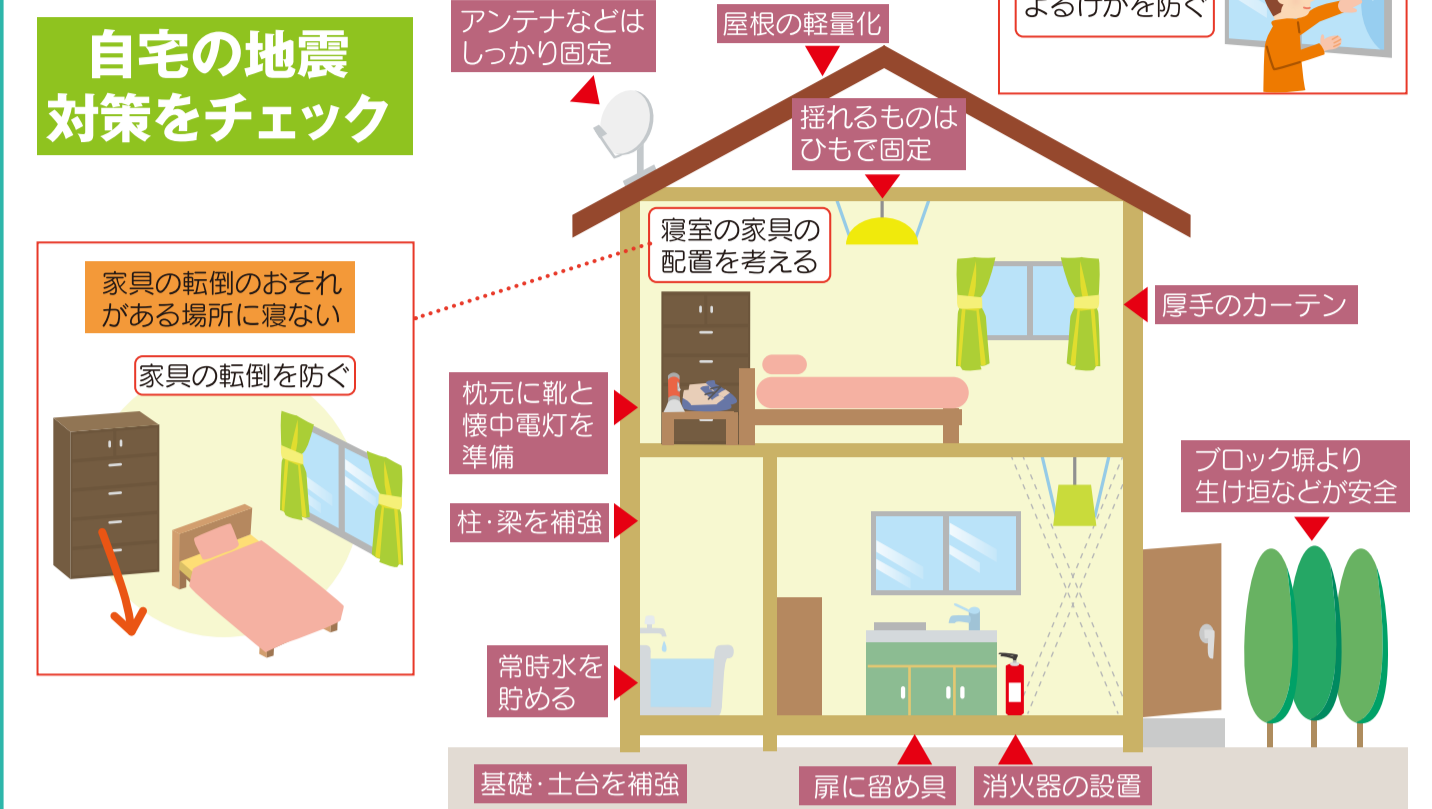
安全で安心に暮らせるまちをつくる—— 清須市

地震から命を守るために

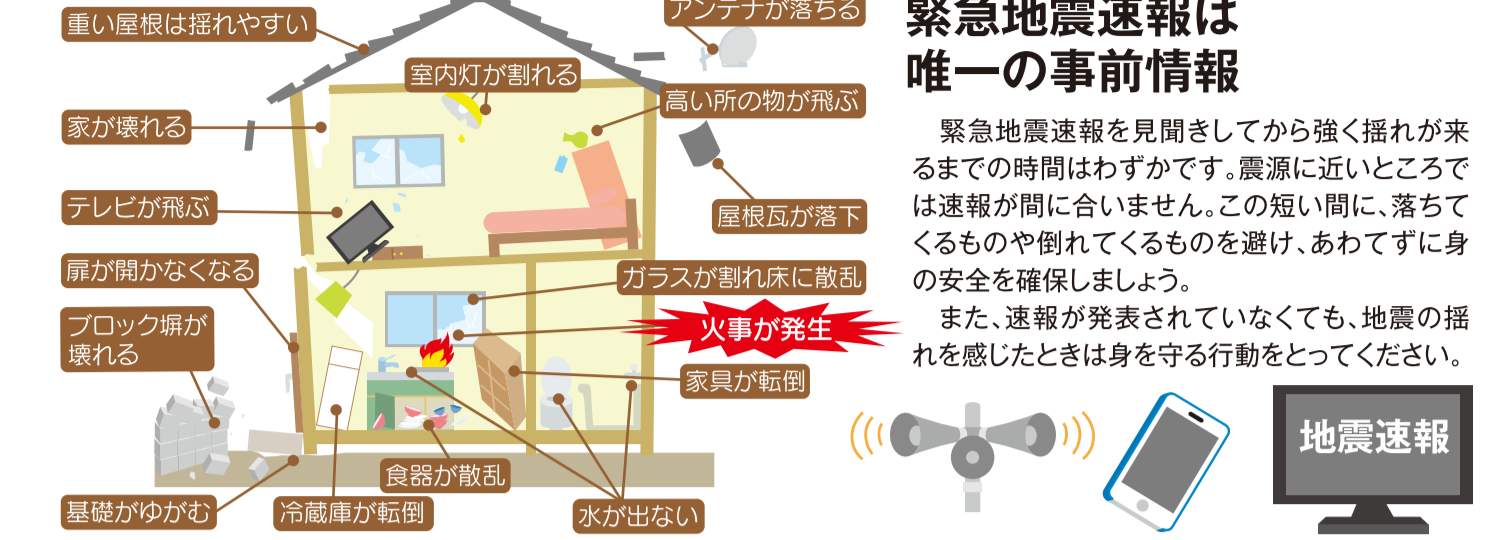
To safeguard life in the event of an earthquake 지진으로부터 생명을 지키려면 发生地震时如何保护生命

起こる前の備えが第一 阪神淡路大震災や熊本地震では、亡くなった方、大けがをされた方の多くが倒れた家具や家屋の下敷きになったことが原因でした。今一度、ご家庭でできる地震に対する備えを見直しましょう。

地震対応 1 地震が起こる前に耐震化・家具の固定
昭和56年以前に建てられた木造住宅(旧耐震基準)の場合には、必要に応じて補強しましょう。家具や窓にも対策をしましょう。



地震による被害



緊急地震速報は唯一の事前情報

緊急地震速報を見聞きしてから強く揺れが来るまでの時間はわずかです。震源に近いところでは速報が間に合いません。この短い間に、落ちてくるものや倒れてくるものを避け、あわてず身の安全を確保しましょう。また、速報が発表されていなくても、地震の揺れを感じたときは身を守る行動をとってください。

地震後の対応



地震対応 2 グラツきたらまず身を守る
揺れを感じたら、丈夫なテーブルや机などの下に身を隠し、頭を保護するようにしましょう。屋外にいるときは、頭上からの落下物や、倒れてくる壁などに注意をしましょう。

揺れがおさまったら

家族の無事と火の始末・火の元の確認をしましょう。また、ドアを開け、避難経路を確認しましょう。

地域住民による助け合い



地震対応 4 自宅で生活できそうであれば、無理に避難所に避難しない
地震後、避難所での生活は、感染症のリスクが高い上、心身の負担が大きく、プライバシーを確保することも極めて困難です。可能な限り住み慣れた自宅での生活を続けられるように、準備しておきましょう。

自宅にとどまるための準備

備蓄品の準備
ローリングストック方式を活用し、食料や飲料水は、家族全員分を最低でも3日分以上、できれば1週間分備蓄しておきましょう。

耐震診断の補助制度を利用しましょう

昭和56年以前に着工された住宅の耐震診断と、耐震改修工事に対する補助制度を実施しています。

ハザードマップの活用
日頃から家庭での備えに取り組み、避難先や連絡方法についても、話し合っておきましょう。

地震直後はトイレなどの水を流さない

水があっても、排水管に問題が無いことが確認できるまでは、水を流してはいけません。

地震対応 5 自宅にとどまらず、避難するときは
靴を履き、緊急持ち出し袋を持って落ち着いて避難しましょう。余震と火災に注意し、近所の人と救助活動をしなが、安全な避難場所へ向かいましょう。

避難先
避難所は感染症のリスクが高いため、安全な親戚、知人宅に避難することも考えてみましょう。

ペットとの避難

首輪に迷子札をつけ、ペットフードや排せつ用具を持参しましょう。エサやりや排せつ物の処理などは飼い主が責任を持って行いましょう。

避難するときの注意点

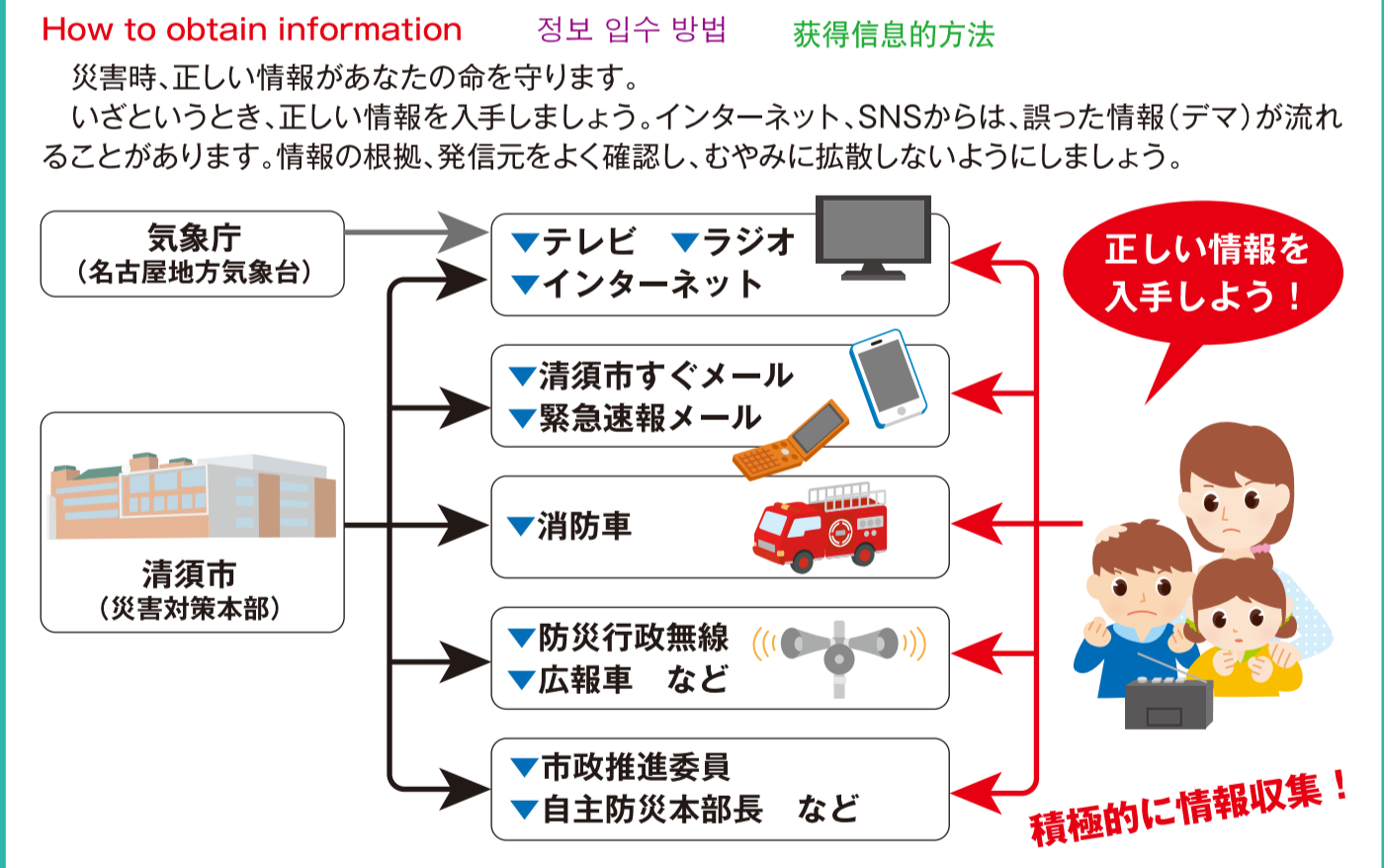
戸締りを忘れずに
空き巣による被害を防ぐために、ドアや窓などは必ず旋錠しましょう。

エレベーターを使わない
火災の発生している際に止まったり、余震や停電で中に閉じ込められるおそれがあります。

復旧時の事故を防ぐ
ガスや水道の元栓を閉め、電気ブレーカーは落としておきましょう。

管理組合などに連絡先を伝えておく
避難先や連絡先などを、管理組合や近所の方に伝えておきましょう。

情報の入手方法



清須市すぐメール 事前登録必要
市より直接防災情報が届きますので、必ずご登録下さい。
t-kiyosu@sg-p.jp

※右のQRコードからも登録サイトへアクセスすることができます。

※登録は無料ですが、メールが発行され着信すると、各携帯電話会社の通常のバケット料金が必要となります。(1メールあたり0~2円程度)

防災行政無線 この番号へ電話していただく、24時間以内に防災行政無線で放送された内容を確認することができます。 TEL.052-400-2913

地震が起きるとまちはどうなるの？

How do earthquakes affect towns and cities? 지진이 일어나면 거리는 어떻게 될까? 发生地震对城市造成什么损害?

橋の被害
耐震補強されていない橋の多くは、崩落し、道路が寸断されるおそれがあります。

液状化の被害
軟弱な地盤では、液状化現象により建物や電柱が傾いたり、あちこちで、道路が凸凹になったりするおそれがあります。

家屋内の家具の転倒
固定されていない家具の転倒により、死者やケガ人が出るおそれがあります。

揺れによる倒壊・住宅火災
地震の揺れにより家屋が倒壊し、多くの死者やケガ人が出るおそれがあります。住宅密集地では、複数か所で同時に火災が発生するおそれもあります。

堤防の被害
堤防が決壊し、浸水するおそれがあります。

鉄道被害
地震の揺れによって線路が変形し、運行の再開までに時間がかかります。走行中の列車が脱線するおそれもあります。

ライフラインの被害
停電・断水・ガスの停止・通信のしや断・交通網の分断等、施設が機能不全に陥ります。

場所によって違う身の守り方
緊急地震速報を見聞きした場合や、地震の揺れを感じた場合にとるべき行動は、その時にあなたがいる場所によってそれぞれ違います。生活パターンの中でいくつかの場面を想定して、いざという時に適切な行動がとれるように、考えておきましょう。

備蓄品チェックリスト

- Checklist of stockpile 비축품 체크리스트 備蓄物品清單
- ★突然の災害に備え、あらかじめ準備しましょう
 - 非常持ち出し袋(リュックサック)に入れておくもの
 - 懐中電灯 携帯ラジオ 予備の電池・バッテリー ロープ 非常食
 - マッチ・ライター ティッシュ ビニール袋 洗面用具 タオル 飲料水
 - 缶きり・栓めき 下着類・衣類 医療品 マスク・消毒液 スリッパ
 - 家族構成によって必要なもの
 - 粉ミルク 紙おむつ 生理用品
 - 高齢者や身体の不自由な方のための準備品(常備薬や介護用品)
 - 避難時の必需品
 - 貴重品(現金・保証証など) 手袋 清須市ハザードマップ 雨具(カッパ)
 - あると便利なもの
 - 毛布・寝袋 カセットコンロ 使い捨てカイロ 割りばし 床に敷くシート
 - ローリングストック方式
賞味期限切れになってしまいう前に消費する経済的な方法です。
 - 7日分以上の食料 ▶缶詰、乾パン、インスタント・レトルト食品、栄養補助食品、お菓子、調味料、スープなど
 - 推奨
 - 飲料水 ▶大人1人当たり1日3リットル
 - トイレ用品 ▶簡易トイレ、汚物保管用容器、トイレ袋、トイレトイペーパー
 - 燃料 ▶カセットコンロ、ガスボンベ、固形燃料
 - いつでも食べているものだから、もしものときに元気が出るね!

わが家の防災メモ

Home disaster-prevention memo 방재 메모 我々家的防災备忘录

あなたの避難場所

一時避難場所	
広域避難場所	
避難施設(指定避難所)	
家族が離れ離れになった時の集合場所	

家族の緊急データ

氏名	生年月日	血液型	アレルギー	常備薬	病気